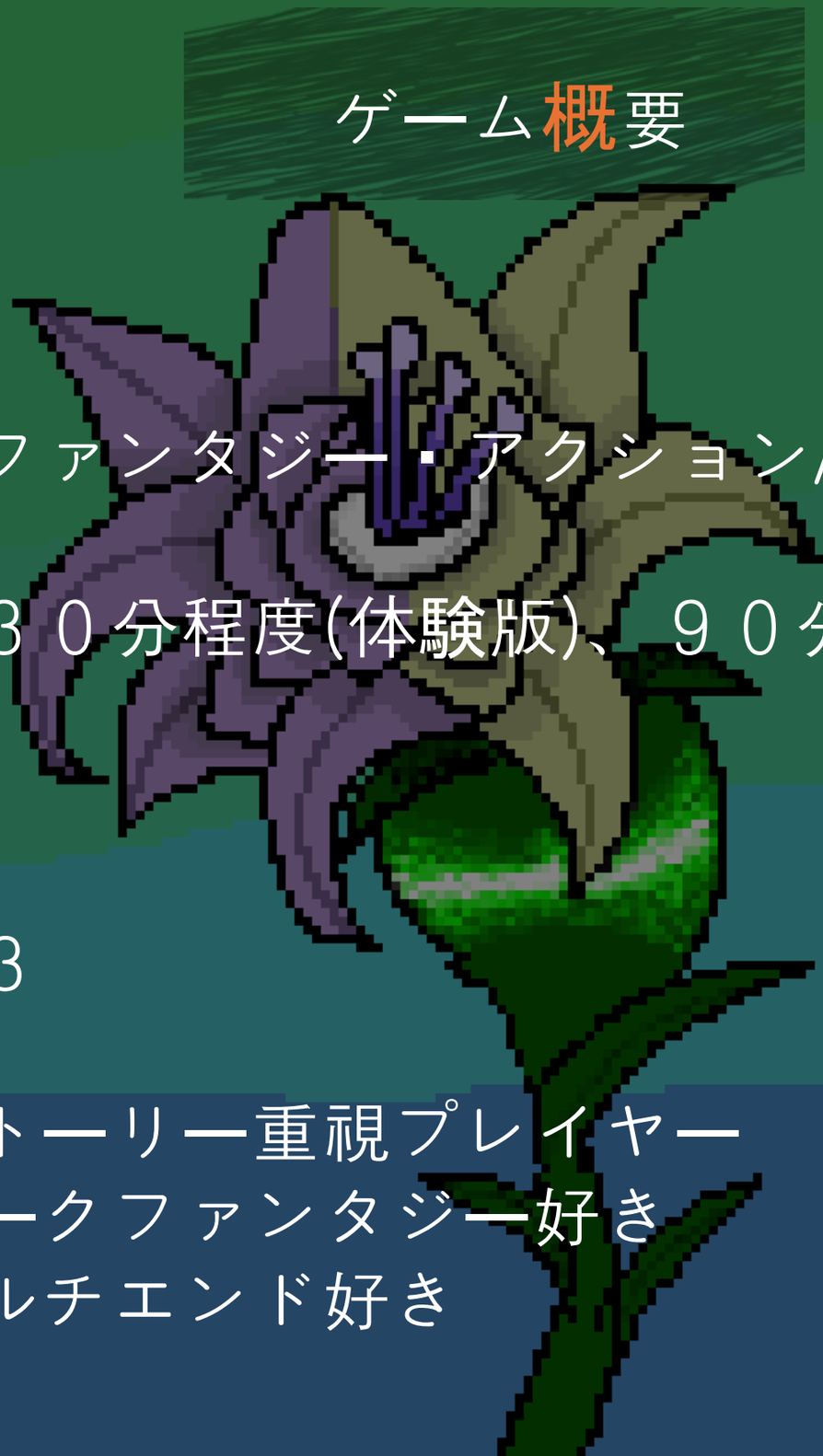
ラヴァンブリア

LAVANBRIA

ゲーム概要



プレイ人数：１人

ジャンル：ダークファンタジー・アクションADV

想定プレイ時間：３０分程度(体験版)、９０分程度

対応機種：PC

エンディング数：3

ターゲット層：ストーリー重視プレイヤー
ダークファンタジー好き
マルチエンド好き

コンセプト

不治の病を患う妹を救うため、少女は伝説の花を求め旅に出る。

完璧だった妹への仄暗い嫉妬とそれでも失われない愛情。

矛盾する感情の狭間で揺れながら少女は自分自身と向き合っていく。

プレイヤーは花の能力を駆使して冒険しながら、少女の心を追体験する。

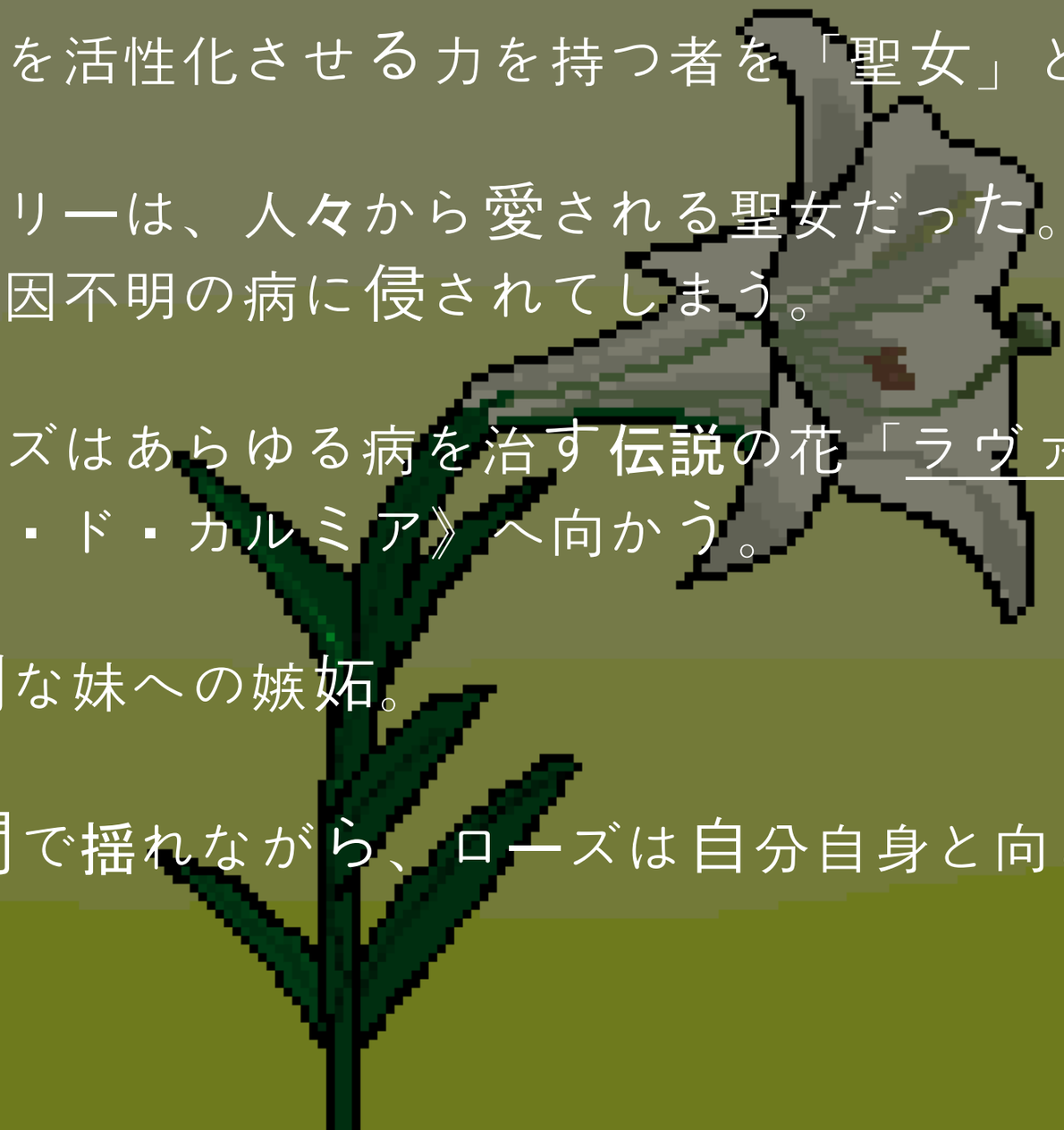
探索、戦闘、会話を通して描かれるダークファンタジー・アクションADV

特別になれない少女はどんな未来を選ぶのか――

ストーリー

この世界では、植物を活性化させる力を持つ者を「聖女」と呼ぶ。

主人公ローズの妹リリーは、人々から愛される聖女だった。
しかし、リリーは原因不明の病に侵されてしまう。



妹を救うため、ローズはあらゆる病を治す伝説の花「ラヴァンブリア」を求め、古代遺跡《ドメーヌ・ド・カルミア》へ向かう。

妹への愛情と、特別な妹への嫉妬。

矛盾する感情の狭間で揺れながら、ローズは自分自身と向き合うことになる―。

登場キャラクター



ローズ

14歳 / 本作の主人公

病に侵された妹を救うため、伝説の花を求めて旅に出る少女。

優しく思いやりがある一方で、完璧な妹への嫉妬と、「特別になれない自分」への劣等感を抱えている。

妹への愛と嫉妬の狭間で揺れながら、自らの感情と向き合う。

この物語の主人公。

登場キャラクター



リリー

14歳 / ローズの妹

不治の病を患う少女。

美しく優しい性格で周囲から愛されているが、その存在はローズの劣等感を強める要因にもなっている。

姉であるローズを誰よりも慕っている。



ルミア

遺跡でローズを度々誘惑する魔女

他者を惑わすような微笑みを浮かべながら、ローズの嫉妬や劣等感に語りかける。

「特別になりたい」という願いを肯定する、本作の重要人物。



カルア

ローズに伝説の花「ラヴァンブリア」の存在を教え、旅へ導く魔女。

穏やかで優しい性格をしており、妹を救いたいと願うローズを陰ながら支えている。

ルミアとは深い因縁を持つ、本作の重要人物。

花の活性化　そして　感情による暴走





カルアから授けられた魔法具：フルールクロアを用いることで、
その花にまつわる能力を活性化させることができる。　さらに、、、



何らかの要因で感情が乱れているときに
花を活性化させると、能力が暴走し、変質する。

花の活性化能力



バラ

魂を縛り、その位置で蘇れるようにする。
ただし、蘇ると負の感情が募る。



トーチリリー

生物を害さない聖なる炎と化し、
氷などを溶かす。



スイートピー

二株一対の花。対となる花へ転移させる。

など、、、

花の暴走能力



バラ

蘇った後、他の花を活性化させるたびに傷を負う。



トーチリリー

一定時間自らが炎をまとい、周囲の氷を溶かす

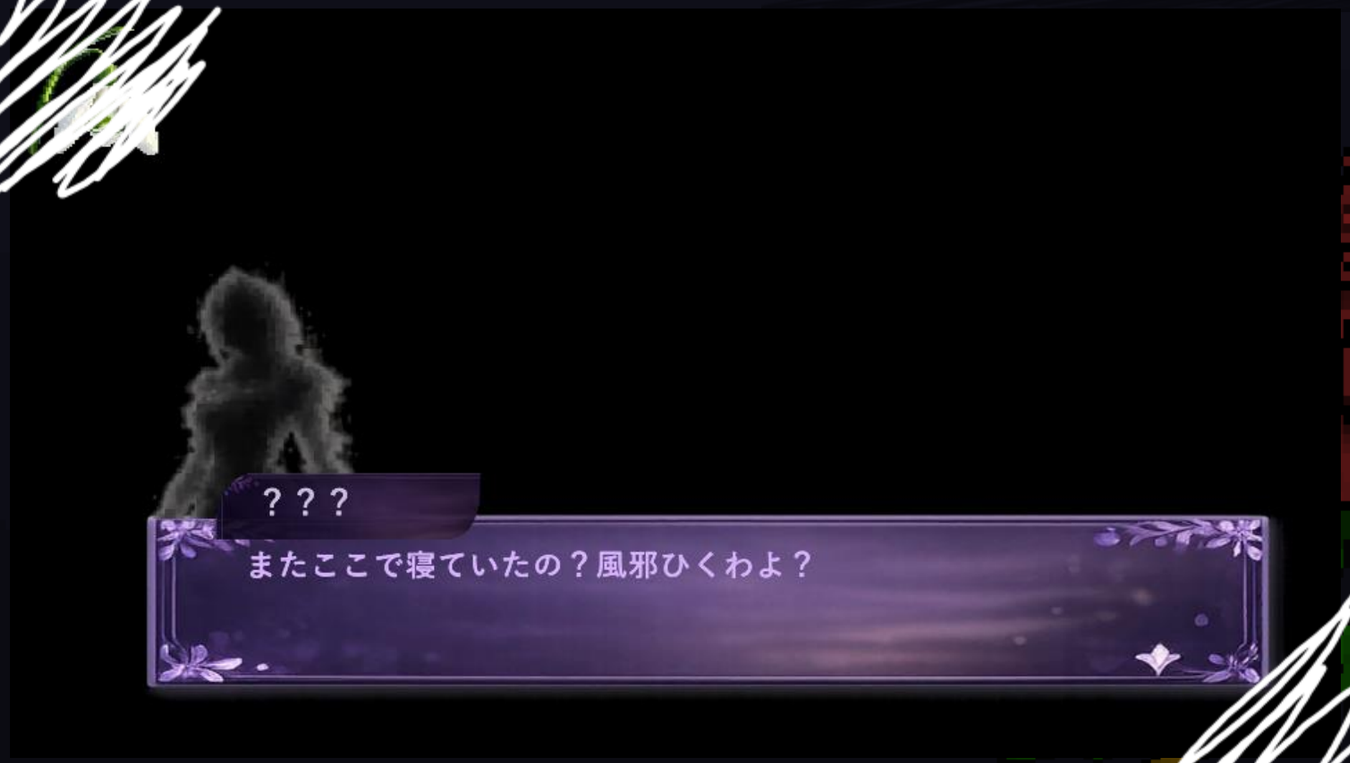


スイートピー

ランダムなスイートピーの位置へと転移させる。

など、、、

勿忘草による記憶収集



ワスレナグサを活性化させることで自分ではない誰かの記憶を見ることができる

この記憶を集めることで真の終わりへの道を開くことができる。

花図鑑



冒険の中で活性化した花が自動で

登録される図鑑機能。

花ごとの能力や特徴を確認でき、

探索・戦闘・謎解きの攻略を支える

だけでなく、未知の花を集める

楽しさも味わえる。

少女が選ぶ未来

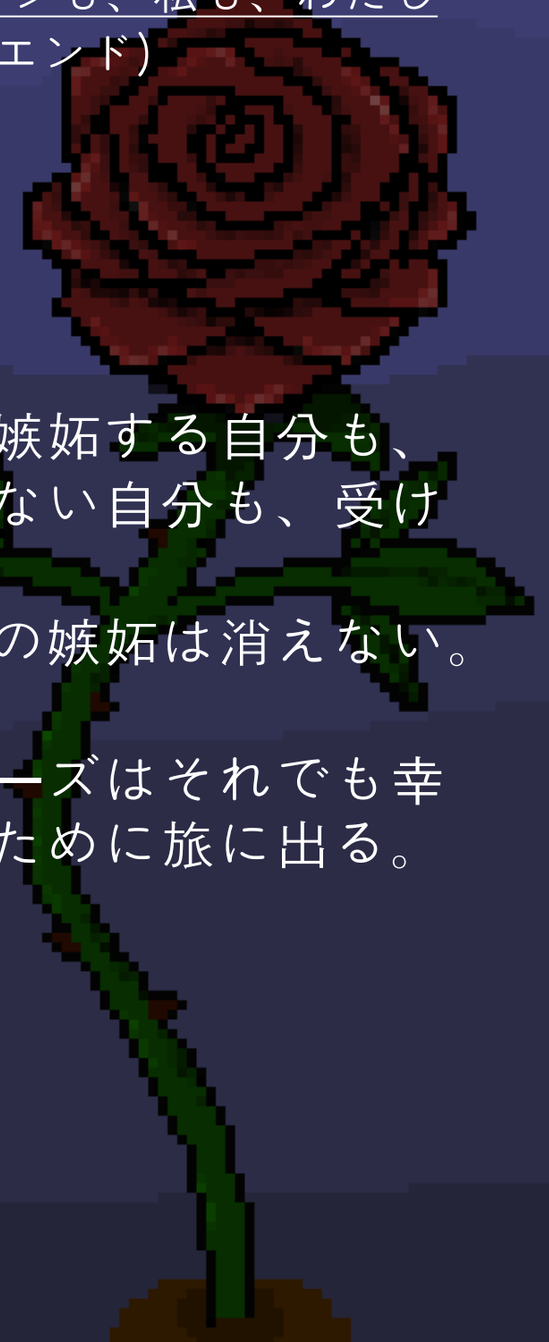
（マルチエンディング）

ED１.ワタシのアイする妹
（ハッピー・バッドエンド）

ローズは自らの内にある嫉妬を否定し、妹を救った。

しかし数年後、
ローズは妹との比較に耐えられず、人々の前から姿を消す。

ED３.ワタシも、私も、わたし
（トゥルーエンド）



ローズは嫉妬する自分も、特別ではない自分も、受け入れる。
リリーへの嫉妬は消えない。

しかしローズはそれでも幸せになるために旅に出る。

ED２.私は特別になりたい
（バッド・ハッピーエンド）

ローズは嫉妬に身を委ね、ルミアから力を授かり、
”特別”になる。

リリーは亡くなり、
ローズは人々を惑わす魔女となる。